

ひとりひとりひかる

きぼう

2017 7/1
第 89 号

発行 : かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147
かしの木 ホームページ [http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



かしの木運動会

かしの木運動会

抜けるような青空の下、平成29年5月28日(日)富田山グラウンドにおいて多くの来賓の皆様、多数の利用者の参加で「かしの木運動会」が行われました。

恒例のパン喰い競争、職員の工夫を凝らした出し物等皆さん楽しい時を過ごされました。



89号 きぼうの目次

- 表紙・写真・目次・・・・・・・・・・ P. 1
- かしの木の会/総会を終えて・・・・・・・・ P. 2
- // /収支決算報告・・・・・・・・ P. 3
- 法人コーナー①/榎の木福祉会の組織について・・・ P. 4
- 施設コーナー①/ゆんたく・・・・・・・・ P. 5
- 法人コーナー②/かしの木運動会・・・・・・・・ P. 6
- 法人コーナー③/榎の木福祉会 28年を振り返って・・・ P. 7
- 施設コーナー②/1年たちました・・・・・・・・ P. 8
- 法人コーナー④/かしの木の会・親睦会
- PRコーナー①/チャイブ夏祭り・・・・・・・・ P. 9
- PRコーナー②/榎の木盆踊り
- かしの木フェスティバル・・・ P. 10
- PRコーナー③/かしの木音楽会・・・・・・・・ P. 11
- お知らせコーナー/予定など・・・・・・・・ P. 12

かしの木の会 総会を終えて

第37回かしの木の会総会を4月22日(土)に多数のご来賓の皆様をお迎えして開催することができました。また、多くの会員の方々にもご出席いただきありがとうございました。



式典の第一部では、ご来賓に県会議員の岩村様、犬飼様はじめ市議員、社会福祉関係、特別支援学校の校長先生、地元の方々よりご祝辞と励ましのお言葉を頂戴しました。障がい者とその親たちの現状やかしの木の会の活動にご理解いただけ、暖かいお言葉に励まされました。

第二部の議事では、平成28年度の事業報告・決算報告、平成29年度の事業計画・予算案そして会則改正案について提案され、了承いただきました。

特に広報委員会では、これまで広報誌きぼうを第三種郵便扱いで発行してきましたが、認可条件が厳しくなり、会として発信したい内容を自由に掲載することが困難になってきたため、今年度より普通郵便扱いで年2回発行することになりました。

またバザー委員会では、物資販売の事業を担

当していましたが、主に活動して下さる方の減少等により継続が難しくなってきたため、運営委員会に担当を移し、今後は手芸製作及び販売と不用品バザーを主活動とすることを報告しました。



第三部学習会では、NPO法人福祉発信基地友の家理事長 戸水純江氏に「防災について」と題して、講演していただきました。死者10人、約7万棟が浸水した東海豪雨から16年。当時、脳性まひの娘さんを連れて避難所に逃れた戸水氏の貴重な体験談をお聞きし、福祉避難所の必要性を改めて感じさせていただきました。



今年度の総会も皆様のご協力で、無事終えることができましたことをご報告させていただきます。

会長 小塚 峰子

平成28年度 収支決算書(案)

かしの木の会

		金 額	内 訳	
収 入	前年度繰越金	9,425,697	普通預金¥7,908,221/郵便局¥1,517,476	
	会費 収入	活動会員	935,000	活動会員会費
		購読会員	115,000	購読会員会費
	事業収入	2,889,365	バザー収入・物資販売売上等	
	寄付金収入	730,000	保護者会¥720,000/一般寄付¥10,000	
	補助金収入	50,000	一宮社協様よりの補助金	
	雑収入	8,575	預金利息 ご祝儀 その他	
	① 収入合計		14,153,637	

		金 額	内 訳	
支 出	事務用品類	12,383	事務用品関係	
	紙折機リース料	8,683	紙折機リース料(年間)	
	印刷機インク代	281,772	印刷機インク代	
	振込手数料	9,250	会費振込手数料	
	その他郵送料	110,462	その他一般郵便物	
	広 報 事業費	印刷用紙代等	99,048	「きぼう」用 印刷用紙等
		「きぼう」郵送料	46,455	第三種郵便 郵送料
	研修事業費	52,622	見学会・講演会・諸経費	
	バザー事業費	1,851,452	バザー材料経費・物資販売仕入 等	
	イベント事業費	97,667	交流会・親睦会経費	
	あつとホーム事業費	2,160	見学・講演会 等	
	寄付金支出	720,000	檜の木福祉会への助成金	
	雑費	86,600	総会諸経費、その他	
② 支出合計		3,378,554		

①～②収支差額(繰越金)	10,775,083	普通預金¥9,073,857/郵便局¥1,701,226
--------------	------------	------------------------------

会計監査報告(平成28年度)

平成28年度「かしの木の会」会計の監査を4月12日に行いました。
 諸帳簿を点検するとともに、領収証・証拠書類・通帳類・現金等を検査しましたところ、
 正確に執行されておりました。
 会計処理がすべて正しく行われましたことを証明し、監査報告とさせていただきます。

平成 29年 4月 12日

かしの木の会

監 事 櫻木 恭子



法人コーナー①

新しい檜の木福祉会の組織について

かしの木の会のみなさん、こんにちは。今回はこの紙面をお借りして、平成29年4月1日付の職員人事異動につきまして、そのねらいや異動の結果についてご報告します。

本法人は、昭和56年に檜の木作業所からスタートし現在は、居住支援、地域生活支援、相談支援など多岐にわたる事業所を運営するに至っております。

一方、本法人ではこれまで職員の人事異動が小規模であったことなどから、1事業所に長年にわたり在籍することとなる職員が多数となっていました。

このような状況のなかで、職務経験の多様化を図ることにより、組織力の強化を図る必要があるという判断のもとに、予め原則1事業所に8年以上在籍する職員については異動対象とするとの人事異動方針を示し、平成29年4月1日で2名の内部昇任者を含め10名の所属異動を実施しました。

言うまでもなく、異動の対象となった職員一人一人は、後任の職員にその仕事を引き継ぐための資料を作成することになります。その過程において、これまでの仕事ぶりを自ら振り返り、やり遂げた仕事に対する達成感を味わい、また、やり残した課題などを整理することになります。

また、異動先の職場においては、利用者やその保護者の皆様並びに職員との間に新たな人間関係を築いていくこととなります。

異動が、当初においては、業務に若干の停滞を生むことはあっても必ずや職員の将来にとってあるいは檜の木福祉会の発展につながっていくものと確信しております。

異動の結果、平成29年度の法人本部課長以上及び各事業所の管理者（施設長）の顔ぶれは次のとおりです。どうぞよろしくお願ひします。

法人本部 森 繁雄



橋本 昭一
事務局長
兼 らちえっと管理者



森 繁雄
事務局次長
兼 総務課長



只井 秀明
事務局次長



岩本 勝
経理課長



野崎 貴詞
かしの木の
里管理者



山口 由美子
きーぷ
管理者



加藤 栄治
檜の木園
管理者



伊藤 豪
檜の木作業
所管理者
〈次の頁へつづく〉

施設コーナー④

ゆんたく活動報告



川口 千鶴子
ステップ
管理者



入山 達也
かしの木サポートプラザ
管理者



龍田 清佳
そら豆キッズ
管理者



鷲尾 廉仁
療育サポート
管理者



武田 信之
GHC
総括管理者



小関 善之
GHCびさい
管理者



大川 哲弥
らでうす
管理者



夏井 幸広
ゆんたく・すろーぷ
管理者

平成 24 年 4 月の障害者自立支援法・児童福祉法の一部改正により、障害福祉サービス・障害児通所支援サービスを利用するすべての方にサービス等利用計画（障害児支援利用計画）が必要になりました。相談支援の強化に伴い、平成 25 年 5 月から、一宮市障害者相談支援センターゆんたくの事務所を移転し、明地にありました尾張西部就業・生活支援センター すろーぷ と一緒に相談支援を行っています。平成 25 年 4 月 1 日には、障害者総合支援法が施行され、障害者の定義に難病等を追加し、支援対象者も幅広くなりました。相談内容も多岐にわたり、質も量も増える中、スタッフ増員に対応した、相談スペースの確保や事務所の機能の確保が課題になっています。

相談と言うと、不安・悩み・心配などマイナスなイメージが強く、相談することに抵抗があり、本当に困ったら相談しようと、感じてしまうことが多いかもしれません。相談支援センターの名称でもある「ゆんたく」は沖縄の方言で「おしゃべり」という意味です。計画の更新やモニタリング等で相談員からご連絡させていただくことも多くなりました。困った時だけでなく、嬉しかったこと、楽しかったこと、好きなこと、頑張ったこと、感動したこと、計画作成の際には、ご本人の希望する生活や夢、ご家族の希望や願いを、おしゃべりをしながら、一緒に考えられたらうれしいです。気軽におしゃべりができるように笑顔で、相談される方が迎えらる相談支援センターを目指して、ゆっくりですが一歩ずつ進んでいきたいと思います。

夏井



〈ゆんたく・すろーぷの相談員およびワーカー〉

法人コーナー②

榿の木運動会!!

平成29年5月28日(日)に、富田山グラウンドにて榿の木運動会が開催されました。天候にも恵まれ、晴天の中行うことができました。



榿の木運動会は、様々な役割を利用者の皆様が積極的に参加してくださいます。アナウンスや競技のお手伝い、式典での選手宣誓、競技の応援など、ひとりひとりの活躍をもって成り立っております。

開会式が終わりさっそく競技、まずはパン食い競走。皆様が一番楽しみにしている競技です。ピストルの音と同時に、目的のパンに勢いよく向かっていったり、どのパンにするか迷ったりする姿が見られました。パンを手にして、嬉しそうな笑顔で走り終えた姿が印象的でした。

続いて、追いかけて玉入れ。最近では、カゴを持つ職員も様々な装いで、参加者を楽しませてくれます。逃げるカゴを追いかけて、楽しそうに玉を入れ、職員と利用者が一体となり競技が行われました。

最後にチャレンジ競走。チーム毎に様々な仕掛けを乗り越え、ゴールを目指します。紐を飛び越えたり、協力してボールを運んだり、キャラクターを完成させたりと、チーム毎に内容を工夫し、見ていて楽しい競技です。

競技が終わり余興で職員リレー。各事業所の代表がたくさんの方を背に駆け抜けま

した。選手が紹介されると、それぞれの事業所からの声援もありました。応援も年々熱を帯びてきた印象です。様々な世代の職員が駆け抜け、転倒あり、抜きつ抜かれつ、楽しんでいただけたかなと思います。

競技が終わり、お楽しみの昼食タイム!今年のお弁当は「焼きそば・ウインナー・卵焼き」でした。お味はいかがでしたか?みんなで囲んで食事を食べる風景はやっぱりいいものですね。

昼休憩が終わり、食後のダンス。今年も引き続き「妖怪体操第一」を踊りました。この曲も恒例になりつつあり、ダンスのクオリティも高くなっている気がします。みんなで楽しく踊る光景はとても良い光景でした。閉会式もスムーズに進行でき、あっという間に運動会が終わりました。

今年も暑いなか運動会が開催されましたが、熱中症や怪我などが無く、無事に終わることができました。これは皆様のご協力があったことです。また、来賓・ボランティアの皆様もたくさん足を運んでいただき、我々の活動にご理解・ご協力を頂き、改めて御礼を申し上げます。



今年もたくさんの笑顔や元気な声、運動会を通じて感じる事ができました。このような行事を通じて、様々な方とのふれあいや出会いを大切に今後の支援に繋げていきたいと思っております。今後もよりよい運動会にしていきたいと思っております。また来年お会いしましょう!

運動会実行委員長・加藤 栄治

法人コーナー③

檜の木福祉会

28年間で振り返って

私は、平成元年に檜の木福祉会に就職してから、振り返れば28年もの月日が経過していました。

平成12年が檜の木の歴史においても節目の年になったと思います。平成10・11年は、かしの木の里障害者支援施設の施設整備の年であり、平成12年にかしの木の里が開設されました。

かしの木の里施設整備を進めるにあたっては、尾西市福祉課長さんらと一緒に施設見学をし、尾西市さんから土地や補助金の大きな支援を得ることができました。

西尾張圏域において、いずみ福祉園に続き、2か所目の入所施設で、365日の生活支援を家族に代わって取り組む施設でした。遠くコロニーまで行かなくても利用できる短期入所への期待も大きなものでした。地域住民への理解を得るための寄付金を募る運動も並行して取り組み、この年に第1回かしの木フェスティバル開催に至りました。同時にこの年、厚生労働省課長の話として、西欧福祉から見ると、入所施設は居住権の保障として疑問視の発言があり、この先入所施設は認可されにくいとの見方が浮上し、情勢は混沌としていました。

平成12年は、社会福祉基礎構造改革が行われ、措置制度から契約制度に移行し、利用者と障害者は対応平等と謳われました。

平成18年に障害者権利条約が国連で採択され、日本も批准すべく遅れている国内法のあれこれの改正を進めている時期でした。そして遂に、障害福祉にとって大きな節目となる障害者自立支援法が成立しました。「しょうがいがあるとなかろうと地域で普通に暮らす」「利用者一人ひとりのあなたらしさを応援します」などがキャッチフ

レーズでした。日本国中が賛否両論、政治

家の発言も活潑になり、百家争鳴でした。檜の木福祉会では、この頃3年間程は峰島篤立命館大学准教授に来ていただき勉強会をしました。かしの木の会においても講演会を開き、落ち込むことなく先が見えるような意見交換を行いました。檜の木福祉会理事役員においても、福祉先進地研修により、ふわり、愛光園、びわこ学園等々に毎年継続して見学に行っています。

さらに制度改正は進み、平成23年に障害者基本法の大きな改正がされました。障害者の定義の見直しが行われ、医学モデルから社会モデルに変更ができたことと、社会的障壁の除去を社会に求め、障害者本人へは合理的配慮を進めましょうとようくなりました。

私が檜の木に入職した時に強い印象にあったのは、「利用者さんが主人公」「ご本人の声を聴け」ということでした。これは今でも生きていますし、続けて生かしていく努力が大切だと思っています。

平成14年10月に、重症心身障害者通園B型事業を県より認可をいただきました。この時も、保護者さんからの熱い思いが届けられ、当時県会議員の長坂康正氏の応援もいただきました。10年目になる平成23年に、檜の木福祉会がまたも力を発揮していただき、国の補助整備事業の活用が出来き、ボランティア鈴木照さんのお兄さんの土地にらちえつと棟を整備することが出来ました。

かしの木の会会長が檜の木福祉会理事の役に付き、相互に交流し、意見交換ができる仕組みをずっと継続できていることは素晴らしいことと思います。

ハンディを抱えながらも、素直に、懸命に生きる利用者さんのその姿やその笑顔と、愛おしくて一生懸命なお母さん、お父さんらご家族の背中を身近に見て、学べたことをとてもありがたいことだったと感謝しています。

GHC 職員 石田和夫

施設コーナー②

1年たちました！

檜の木作業所に勤め始めて早いもので1年がたちました。毎日毎日が新鮮で、「あつと言う間に1年が過ぎてしまった」というのが、実感です。そんな中で見つけた、利用者の皆さんの毎日の姿の一端をご紹介します。

- 「この仕事は私に任されているんだから、最後まで頑張るの！」と自信と誇りを持って取り組まれている方たちが多数おられます。
- 休み時間の間はマイペースでも、いざ始業の鐘が鳴るとすっと表情が変わり、黙々と「いい仕事」をされる方たちがおられます。
- 「嵐のコンサートに行けるようにお仕事を頑張ります！」と、どんなお願いをしても気持ちよく引き受けて下さる方がおられます。
- とてもゆっくりですが、きちんきちんと作業される方たちがおられます。(もちろん、「速くて的確な神業」を見せて下さる方たちもおられます。)
- 不自由な手を使って太い糸巻きから糸をほどく仕事をされている方たちがおられます。根気よく作業される姿に頭が下がります。

根がおっちょこちよいなところがある私はいろいろ失敗もしますが、利用者の皆さんの笑顔に慰められたり励まされたりの日々です。これからも、利用者の皆さんのいいところを見つけていけたら、と願っています。

そんな皆さんの仕事としては、「どんぐり」クッキー、おそうじシート、多種多様な形をした車の部品のバリ取り、料理を小分けして盛りつけるプラスチックの器の製造、百均のお店に並ぶ毛糸のラベル貼りや袋詰め、Sフックなどの金具に、バーコードのシールを貼り(位置や貼り方が指定されているのですが、見本と寸分違わず貼れる方たちがおられます!)、箱を組み立てる仕事などなど…。「社会の一番の底を支えているのが利用者さんたちではないか」と思うことがあります。(お仕事を下さる企業の皆様、ありがとうございます!)

さて、職員の方たちに目を向けましょう。勤め始めて1年はたったものの「まだまだ1年にすぎない」と痛切に感じます。正職の方々はもちろん、パートの先輩方も、皆さんほんとうに細やかな心遣いをしながら利用者さんたちを見守り、支えておられます。その時その時に自然と出る、さりげなく的確な動きや声かけ、フットワークの軽さ…その域にはまだまだ到底届きません。利用者の方たちからも、職員の方たちからも教えられることばかり…というのが実情です。これからも私なりにベストを尽くし、信頼される職員になれるよう精進したいと願っています。

作業所職員 祖父江



法人コーナー④

「かしの木の会親睦会」に参加して

法人事業部 総務課 村上 智

昼間の日差しに温かみを感じるようになりました。3月の17日、かしの木の会主催の親睦会に参加させていただきました。理事長をはじめ法人から5名が出席し、昼食をいただくこととなり、初めてこのような催しに参加する私としてはとても緊張いたしました。

会場では、席を決めるために順番にクジを引き、指定された席へ着くという流れになっており、私もクジを引き指定された席へ着いて、親睦会が始まるのを待ちました。小塚会長の挨拶を経て会食が始まりました。はじめは話すきっかけをつかめず食事を一心に食べていましたが、少しずつ周りの方もお話ができるようになり、落ち着いた時間を過ごすことができましたと思います。

食事が終わると、今度はビンゴ大会などのレクリエーションもあり、最後まで楽しく過ごすことができました。皆様の自己紹介時に雑談で場を濁してしまうような失敗もしてしまいましたが、色々と施設での日常や、思っていたらしゃることを聞いて大変有意義だったと思います。

職場ではどうしても聞くことができない、サポートしていただいている方々の意見や、お考えを知る機会として貴重な場だと感じましたので、今後もこのような機会がございましたら、参加させていただけたらと思います。



PRコーナー①

日 時	7月8日 (土)
	17:30~
場 所	チャイブ

今年も恒例の『チャイブ夏祭り』の季節がやってきました。

地域の方たちとの交流を目的に、平成22年度から始まった夏祭りも、今年で8年目を迎えました。毎年たくさんの方たちに来ていただけて、どれも素敵な思い出となるものでした。

当初から大切にしてきた『地域と共に』を目指し、今年も皆さんと共に素敵な一日になるのを楽しみにしております。

『地域の夏の風物詩』となるようにスタッフ一同で盛り上げていきますので、たくさんのご来場をお待ちしております。



PRコーナー②

平成 29 年度

檜の木盆踊りについて

今年度も毎年恒例行事である、檜の木盆踊りの時期が刻々と迫ってきました。

今年も下記のとおり行いますので、地域の多くの皆様には是非とも来ていただきたいと思ひます。

模擬店も昨年同様、皆さんに満足していただけるものと考えております。

この檜の木盆踊りは、利用者さんの皆さんに楽しんでいただく事はもちろん、地域の方々との交流を目的として開催されています。

今年の檜の木盆踊りの実行委員長として、檜の木福祉会の皆さんと地域の皆さんが楽しめる行事にしていきたくと思っておりますので、よろしくお願ひします。

檜の木作業所 森 佑介

第 17 回

かしの木フェスティバル に向けて

今年度、フェスティバル実行委員長を務めさせていただきますことになりました。

フェスティバルに関わらせていただき、5年目で大役を任されることになり身の引き締まる思いでいます。昨年は約1500人の方にご来場いただき、たいへん盛り上がりました。今年度も多くの方にご来場いただけるようイベント等を考え、良いものを残しつつ新しいものを取り入れたいと思ひます。

福祉のイベントなので、特に福祉に係る催し物を盛り上げていきたいと思ひます。毎年行っている福祉体験コーナーで、暗視ゴーグルと白杖の体験や車椅子の体験がありますので、多くの人に体験していただきたいと思ひます。

かしの木の里 仙石

日 時	8月10日 (木)
	17:30~
場 所	檜の木作業所

日 時	11月5日 (日)
	9:45~
場 所	富田山グランド



かしの木音楽会 2017



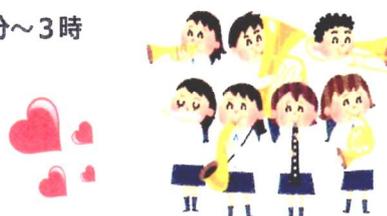
開催のお知らせ



今年度 気持ちも新たに「かしの木音楽会2017」を開催します！

今年度から、開催月を9月に変更し、会場も尾西グリーンプラザ 多目的ホールにて開催します。今回、かしの木音楽会にご出演いただくのは、lucky sound brass 様です。その名の通り、その音楽を聴くだけでハッピーになれる演奏やパフォーマンスの数々。皆様、奮ってご来場ください。

- ・開催日時 平成29年9月10日(日) 午後1時30分~3時
- ・会場 尾西グリーンプラザ 多目的ホール
- ・ご出演団体 lucky sound brass 様
- ・ご出演団体のご紹介



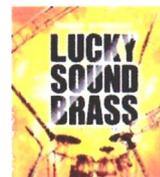
LUCKY SOUND BRASS

高校卒業した2003年の夏、高校時代の吹奏楽部の顧問に1件の演奏依頼をOBでどうだと声をかけてもらったのがきっかけで、行ったのが保育園でした。

ちょっと久しぶりの仲間での演奏に楽しくて楽しくて！！これからも私たちのハッピーでラッキーな演奏を届けていこうと立ち上げました！！愛知県西尾張を中心に、ノリノリで楽しいステージを目指して演奏活動を行っております。目指すは…ダンスでノリにノった演奏+音響を合わせたパフォーマンス！！



 Instagram やってます！！
 @luckysoundbrass
 良かったら見てくださいね！！



お知らせコーナー

ご寄付に感謝

一昨年、長い間活動してみえた、一宮東特別支援学校の卒業生の保護者の団体「てのひらの会」が閉会されました。その期に、地域福祉に役立てようと積み立てられた活動費を、卒業生の受け入れを行っていたかしの木の里、檜の木作業所に寄付していた

いただきました。

ご寄付していただいたお金は、会の趣旨に則り、両事業所の修繕や物品購入に使わせていただきました。エアコンの整備が3件、照明のLED化、乾燥機、給茶機、椅子等の備品も調達させてもらいました。この整備で、両事業所の利用者は、より快適な活動ができるようになりました。ありがとうございました。

【 行事予定 7月～12月 】

チャイブ夏祭り

日時・・・7月8日（土）
17：30～

場所・・・チャイブ

檜の木盆踊り

日時・・・8月10日（木）
17：30～

場所・・・檜の木作業所

かしの木音楽会

日時・・・9月10日（日）
13：30～

場所・・・尾西グリーンプラザ
多目的ホール

木曽川高校演奏会

日時・・・9月23日（土）
10：30～

場所・・・木曽川高校体育館



福祉とボランティア活動展

檜の木福祉会

日時・・・10月21日（土）～
22日（日）

場所・・・一宮スポーツ文化センター

びさいまつり

日時・・・10月28日（土）～
29日（日）

場所・・・尾西庁舎～
尾西第一中学校周辺

稲沢福祉まつり

日時・・・10月28日（土）
場所・・・稲沢市勤労福祉会館

かしの木フェスティバル

日時・・・11月5日（日）
9：45～

場所・・・富田山ひろば

ふくしのつどい

日時・・・11月12日（日）
場所・・・尾西商工会館駐車場

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木の会 事務局

〒494-0018

愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地
かしの木の里内

Tel 0586-63-2111

Fax 0586-61-1200

檜の木福祉会（法人代表）

一宮市富田字砂原 2147 番地

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200